

「農業の未来を信じて！」

楽しむ農業を大切にする新規就農者

堀剛さん、宰生さん【就農6年目】

Interview

◇就農のきっかけ

堀剛さんは、山形県出身で、ホテルのフロントをしていましたが、配偶者の宰生さんの妊娠を機に29歳で、九州での就農を決意しました。

生まれてくる我が子に、「夢や目標を持って豊かな充実した人生を歩んで欲しい。」と願い、まず、父親である自分がそれを実践すべきと考え、以前から興味があった農業に参入。初めは農業法人に就職し、34歳で独立。現在は、草野・大橋地区で露地野菜を中心に生産しています。現在40歳3児の父で、就農のきっかけを作ってくれた長男も11歳になったと話してくれました。

◇久留米を選んでよかった点

福岡県や大分県を中心に就農地を探しており、耳納連山の美しさに魅せられて久留米に移住を決意しました。

久留米は一大農業都市で、優秀なベテラン農業者が多数おられますので、野菜だけでなく、米、麦、果樹、酪農、植木など一年中作られているため、多くの選択肢の中から自分に合った品目、品種、栽培方法、販売方法を選べるのが最大の魅力だということです。

また、生活面では、医療や教育など充実した都市

機能、豊かな自然と歴史ある文化、人柄も暖かく親切な方も多いなど、不自由なく生活することができるまちとのことでした。

最近、仲間とスイートコーンの共同販売グループを立ち上げたそうで、多くの農業仲間と夢や目標を語り合えることが一番の喜びだということです。

◇農業への思い、こだわり

「楽しんで農業をすること」に一番こだわっており、その中で、経済的にも成功し、地域社会にも貢献していけたら最高だと言われました。

◇これから久留米で新規就農する方へ

日本が本当の意味で豊かな社会を目指すとしたら「農業」というものが大きなキーワードになってきます。これから農業を目指す方は、その一歩が社会を良い方向に前進させると思います。農業は本当に面白いので、自分流の営農方法を見つけて楽しんで欲しいと、未来の仲間だけでなく農業の“未来”に向けた熱いエールをいただきました。



DATA



経営面積／約2ヘクタール

主な生産作物／イチゴ、キュウリ、スイートコーン、レタスその他露地野菜

労働力構成／本人、配偶者、義母、常雇用1名、臨時雇用2名